



〈対談・みどりトーク〉  
院長 成瀬 聡  
KOYANAGI 真柄 CLINIC 小柳 先生

コロナ禍を経たからこそ  
分かったことを、  
さらなる認知症対策に  
〈トピック〉認知症セミナー  
地域で支えよう！認知症  
認知症の「いま」を学ぼう

〈連載企画〉みどり病院リハビリマインド Vol.6  
訪問リハビリでレッズ生活改革

私たちと一緒にあなたらしい  
生活を見つげませんか？

みどり病院のスタッフが  
ちょっとお邪魔します。

## みどりぼた 会議

〈第6回〉

### 『みどりサポートボランティア』



牧賢二様  
南米ペルーの楽器ケーナを  
知ってもらいたい気持ちと  
皆さんに楽しんでもらいたい気持ちで  
活動しています。



中島 優子様  
毎日使う道具なので整理整頓に  
つとめています。職員の方も  
お声がけくださって、楽しく  
やらせていただいています。



青木 夏江様  
コロナ前も、こちらで  
ボランティア活動をしていました。  
また、お役に立てることが  
うれしいし、楽しみです。

## みどりサポート ボランティア募集

あなたのできることで  
みどり病院グループをサポートしてください。

### 場所

みどり病院(新潟市中央区神道寺2-5-1)  
介護老人保健施設 緑樹苑(新潟市中央区神道寺2-4-24)  
浜浦みどり荘(新潟市中央区浜浦2-47-2)  
介護医療院 みどりケアセンター(新潟市中央区神道寺2-5-1)

### 活動 内容

たとえば・・・

- 話し相手・傾聴
- 朗読
- 演奏や踊りの披露
- 行事の補助
- 整容(ドライヤーがけ)
- 外出補助(車いす移動)
- 簡単な作業の手伝い(洗濯・掃除)
- 草取り/園芸
- あなたのできること

### 活動 日時

ご希望を伺いマッチングします。

あなたのやりたいこと&できる時間を病院・施設のボランティア活動にぜひ活かしてみませんか。事前に希望を伺い、ご都合に合わせて活動していただけます。まずは、ボランティア登録をお願いします。学生さんも大歓迎です！  
※活動前にオリエンテーションを行います。



### 申し込み/問い合わせ

みどり病院  
法人ボランティア窓口(榎田)  
電話 080-7773-7940  
メール dcmidori@midori-gr.jp

みどり病院  
グループ

医療法人新成医会

- ・認知症疾患医療センター
- ・介護医療院 みどりケアセンター
- ・介護老人保健施設 緑樹苑
- ・みどり訪問看護リハビリステーション
- ・新潟市地域包括支援センター 宮浦東新潟
- ・浜浦みどり荘  
(有料老人ホーム・デイサービス・ショートステイ・訪問介護)

医療法人朋友会

- ・堀川内科・神経内科医院
- ・訪問看護ステーション 浜浦町
- ・居宅介護支援事業所 浜浦町

医療法人 新成医会 みどり病院  
総合リハビリテーションセンター

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2丁目5番1号 tel.025-244-0080  
https://www.midori-gr.jp

みどり病院 新潟

検索



みどり病院 広報誌 Verde  
〈発行人〉総合リハビリテーションセンター・みどり病院 病院長 成瀬 聡  
〈発行〉2024年 冬

院長  
**成瀬 聡**  
satoshi naruse

みどり  
対談  
トーク

医療法人社団 小柳真柄医院  
KOYANAGI 真柄 CLINIC

**小柳 亮先生**  
ryo koyanagi

かかりつけ医が  
認知症診療の入り口に。  
専門医と繋いで連携する  
オレンジドクター認定の促進を。



成瀬 聡 院長  
1986年新潟大学医学部卒業。医学博士。日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医。院長としての業務に携わりながら、週3回、脳神経内科・もの忘れ外来を担当。

**成瀬** お忙しい中ご足労いただき、ありがとうございます。  
小柳先生の診療所は地域の「かかりつけ医」として24時間対応されていますね。

**小柳** 私の診療所は家族経営の町中華のような、店主が2階に住んでいて朝から晩まで鍋を振っているような診療所です。家族と職員で力を合わせて24時間対応しています。(笑)

**成瀬** 小柳先生の医院がある新潟市南区の周辺環境は？

**小柳** 黒埼地区という対象人口7万人ぐらいを幾つかの診療所と病院で診ています。高齢化が進んでいますが、実は一部人口が

増えてきている地域もあります。

**成瀬** 認知症患者は、地域にどの位いらつしゃいますか？

**小柳** 増加傾向であり、診療所の運営に関しても大きな変化です。成瀬先生のご尽力で出来た新潟県の「オレンジドクター」という認定システムによって、我々もかかりつけ医として、初期対応をするといったことを毎日心がけています。

**成瀬** 新潟県では認知症の方を支援する「オレンジドクター」という制度を構築しています。研修を受けた、認知症の相談ができる医師がいる医療機関を、新潟県が認定している制度です。

認知症の方が医療機関の待合室で騒いだりして怒られたり、診てもらえなかったりすることがあります。そんな

## かかりつけ医と 専門医の連携で 認知症の初期対応を！



ります。一般内科医であっても難聴は気づくことができま



すので、その初期介入にすぐく気をつけるようになりま

した。この認定制度がそういったもの

きつけになったのは間違いありません。

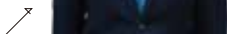
**成瀬** 以前認知症の方は、直接専門医にかかることが多かったです。そうすると当然、専門医が少ないので、全部診きれなくなりました。かかりつけ医から専門医の先生に紹介していただいて、診断して治療方針が決まったら、また、かかりつけ医に戻っていただく、医療の連携が非常に大事です。患者さんやご家族が安心して受診できるように、県が認定したのは大きいですね。

**小柳** 現在、そのオレンジドクター認定施設はどのくらいあるのでしょうか？

**成瀬** 先生方はお忙しくて、手

地域の方と同じ空気を吸って、同じスーパーで買物もする。

そんな地域密着の診療所で認知症をサポートします。



KOYANAGI 真柄 CLINIC  
小柳 亮 院長

1998年川崎医科大学卒業。厚生労働省医系技官を経て、東京女子医科大学大学院卒業。医学博士号を取得。2012年KOYANAGI 真柄 CLINIC開設。2020年新潟県医師会理事に就任。日本医師会未来医師会ビジョン委員会委員長。

を挙げてくださるところはそんなに多くはないというのが現状でしょう。

**小柳** 知らないドクターも結構いるのではないのでしょうか。当然一般の方にはご存じない方が大勢いると思います。その辺を含めた広報活動を、県にもう少し頑張っていたらきましよう。

**成瀬** これまでではかかりつけの先生に勇気を振り絞って認知症の相談をすると、「年だからしょうがない」と、終わっちゃうことが結構あったと聞いています。

**小柳** 認知症だと最初から諦めムードでしたが、初期対応すると認知症はある程度進行せずに済む。ここへ行くと繋がってくれるのではないかと、ただだけでも、全然違いますから。

**成瀬** まずはかかりつけの先生は認知症も診ていただく。専門医機能とかかりつけ医機能をいかに連携させるか。あとは介護側の包括

時、認知症の方やご家族はどの医者に行ったらいいか悩んでしまいます。この「オレンジドクター」の元に行けば、安心して診ていただけ相談できます。これは医師個人に対して認定しているのではなく、診療所や病院を認定しています。

**小柳** 県知事による認定になりますので、新潟県内では熱心にやっているか、地域住民の皆さんの評価基準になると思いますし、そこに行けば専門的な病院に繋いでくれるという証になっていますね。

**成瀬** 小柳先生の診療所は、制度ができた2021年にオレンジドクター認定施設になっていま

すね。  
**小柳** はい。成瀬先生の前で恐縮ですが、認知症は先天的な要因が6割、後天的な要因が4割、その内の8%が実は「難聴」によ

支援センターや、ケアマネージャーさんとの連携も非常に大事になります。認知症は医療と介護の連携という状態ではなく、もう一緒なんですよ。分けられないと思います。

**小柳** 私は認知症診療も含めて、医師不足の新潟の医療に非常に魅力を感じています。医師が不足しているということは、一人の医師としてはむしろ伸びしろではないかと思っています。もうなんでもやるんですよ。元々心臓の医者ですけど、認知症も成瀬先生の指導を仰ぎながら一生懸命勉強して、かかりつけ医として初期対応を心がけることができました。自治会活動や、最近では診療所前の通学路を除雪しながら、子どもたちと朝のあいさつを交わすのも楽しみにしてやっています。(笑)

**成瀬** 診療所に来られる患者さんや、地域の皆さんを考えてのことなんですね。

**小柳** かかりつけ医機能というのは、究極の地域社会の構築だと思っています。家族ぐるみで認知症の人を診たり、地域に溶け込んでいるっていうのが、かかりつけ医なのではないかな。先進技術や知識を持ちつつも、ローカルに生きるのが私の夢なんです。

**成瀬** やはりこれからは地域の中でまとまって、そこから専門医のところを紹介していただく。よ

## verde column

〈ヴェルデ：コラム〉

内科医師  
笠見 卓哉

## 猫のいる生活

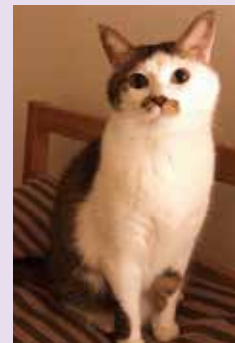
わが家には猫が2匹います。兄弟で、保護猫です。

名前はシロウ、ケンジ。

この名前を聞いて、ピンとくる方はいらっしゃいますか？



シロウ



ケンジ

『きのう何食べた?』というマンガの主人公の名前です。

几帳面な弁護士・シロウと、人当たりの良い美容師・ケンジの2人の毎日を、食生活メインに展開する物語。ゲイカップルの日常、悩み、これなら作れると思わせる気取りのないシロウの料理、ケンジの表現力豊かな食レポが魅力です。ドラマ化、映画化もされています。

うちのシロウ(シロさんと呼ぶ)は穏やかな猫で、実にネコらしい猫です。ほとんど問題行動がありません。チュール(猫用のおやつ)を鬼の形相で食べること以外は。

ケンジ(ケンジと呼ぶ)は、トイレがちゃんとできず(昔はできたのに)、夜明け前に人を起こす困った猫なのですが、愛想を振りまくのがうまい。

猫に癒される日々ですが、問題となるのは家を不在にするときです。旅行に行くときどうするか。わが家はペットシッターを頼みます。ペットホテルより安く、猫の住環境が変わらないためストレスが少ないだろうという理由です。

いつもお願いしているシッターさんは、飼い主が病気や体力の低下などを理由にペットの世話などで困ったときにサポートしてくれる団体も運営されています。みどり病院の外来にもパンフレットがあります。ご興味のある方は見てみてください。

### 循環器内科

田邊 靖貴

専門分野  
循環器内科 内科

資格・認定医  
日本循環器学会循環器専門医  
日本内科学会内科認定医

### リハビリテーション科

和泉 由貴

専門分野  
リハビリテーション科

資格・認定医  
日本リハビリテーション医学会  
リハビリテーション科専門医

### リハビリテーション科

宮入 暁子

専門分野  
リハビリテーション科

資格・認定医  
日本リハビリテーション医学会  
リハビリテーション科専門医  
日本リハビリテーション医学会  
リハビリテーション科指導医

### 脳神経内科

石黒 敬信

専門分野  
認知症 脳神経内科

資格・認定医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本神経学会神経内科専門医  
日本認知症学会専門医  
日本認知症学会指導医

### 脳神経内科

道川 誠

専門分野  
認知症 脳神経内科

## ◎非常勤医師の紹介

### 内科、消化器内科

高橋 弘道

琉球大学医学部2005年卒

専門分野  
消化器内科

資格・認定医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本消化器病学会消化器病専門医



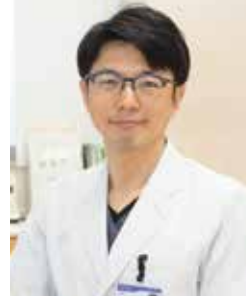
### 内科

笠見 卓哉

滋賀医科大学医学部2012年卒

専門分野  
血液内科

資格・認定医  
血液専門医



### 整形外科、リハビリテーション科

楠目 信三

帝京大学医学部1981年卒

専門分野  
整形外科 リハビリテーション科

資格・認定医  
日本専門医機構認定整形外科専門医  
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医  
日本リハビリテーション医学会認定臨床医  
日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ医  
日本スポーツ協会公認スポーツクター  
日本骨粗鬆症学会認定医  
認知症サポート医



### 副院長・脳神経内科、リハビリテーション科

川村 邦雄

自治医科大学医学部2000年卒

専門分野  
内科 脳神経内科  
リハビリテーション科

資格・認定医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本リハビリテーション医学会  
リハビリテーション科専門医



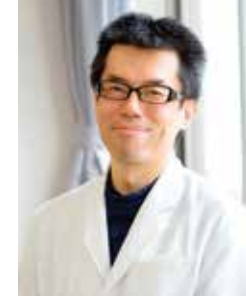
### 副院長・脳神経内科

矢島 隆二

新潟大学医学部2004年卒

専門分野  
認知症 脳神経内科

資格・認定医  
日本神経学会神経内科専門医  
日本神経学会神経内科指導医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本認知症学会専門医  
日本認知症学会指導医  
新潟市認知症サポート医  
日本リハビリテーション医学会認定臨床医



### 診療部長・内科、消化器内科

佐藤 剛司

山形大学医学部2001年卒

専門分野  
内科 消化器内科

資格・認定医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本消化器病学会消化器病専門医  
日本消化器内視鏡学会  
消化器内視鏡専門医



### 院長・脳神経内科

成瀬 聡

新潟大学医学部1986年卒

専門分野  
認知症 脳神経内科

資格・認定医  
日本神経学会神経内科専門医  
日本神経学会神経内科指導医  
日本認知症学会専門医  
日本認知症学会指導医  
日本内科学会認定医  
日本認知症予防医学会評議員  
新潟市認知症サポート医



### 名誉院長・リハビリテーション科

佐藤 豊

新潟大学医学部1974年卒

専門分野  
リハビリテーション科

資格・認定医  
日本リハビリテーション医学会  
リハビリテーション科専門医  
日本リハビリテーション医学会  
リハビリテーション科指導医



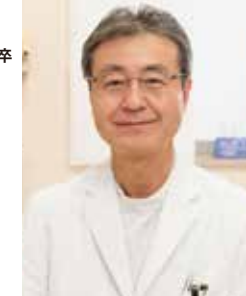
### 副院長・内科、呼吸器内科

齋藤 泰晴

佐賀医科大学医学部1988年卒

専門分野  
呼吸器病学 一般内科

資格・認定医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本呼吸器学会専門医  
日本静脈経腸学会認定医



## ◎医師の紹介



●講演①  
**認知症当事者も不安や恐怖を抱えている**  
 東京都立松沢病院名誉院長  
**齋藤 正彦**

最初にご登壇いただいたのは、日本の認知症医療・介護の第一人者として活躍されている齋藤正彦先生です。「認知症の当事者は物忘れを自覚せず、病識はない」という大学時代の教えに違和感を覚え、認知症研究を始めた齋藤先生。認知症を患った母の日記を紐解き、物忘れは自覚していないことも物覚えができなくなっていることは理解し、確かに苦しんでいることが分かったと言います。

認知症の障害は、当たり前になってきた家事などができなくなる、過去の出来事を思い出せなくなる、言葉が出てこなくなる、と段階を踏んで表れます。初期は理由も分からないままできなくなっていく「自分」に対して不安を抱きますが、最終的には、記憶が消えて認識できなくなってしまう「周囲」への不安に変化して



verde topic <連載企画> vol.6

「地域で支えよう! 認知症 認知症の“いま”を学ぼう」  
 たくさんのご参加ありがとうございました!

認知症を正しく理解していただくために、当院は年に一度「市民公開講座 認知症セミナー」を開いています。今年11月18日(土)に新潟ユニゾンプラザにて、第12回セミナーを開催。あいにくの天候でしたが、多くの方にお越しいただきました。今回はその学びの一部をご紹介します。

いくのだそうです。大切なのは、当事者も不安を抱えていることを理解し、自分の身に置き換えること。そうすることで支援のあべき姿が見えてくるのではないかと教えていただきました。

●講演②  
**当事者と家族の歴史を知ってほしい**

新潟県介護福祉士会副会長  
 介護支援専門員 **西本 円**

続いて、40年以上の介護職経験を持つ西本円さんから、母の認知症介護を経験して感じたこと、家族の立場で介護者に望むこととお聞きしました。職場では冷静に対応できるのに、家庭では親子ゆえに感情が抑えられず、関わり方が悩む日々。「家に帰るのが怖くて、わざと遅くまで仕事をしたり日もあった」と言います。

関わり方が変わったきっかけは「そろそろ行こう」と、母を連れて行った物忘れ外来。担当医から「お母さんはとても不安なんですよ」と伝えられて、涙が止まらな

くなったそうです。言われて初めて、母の不安な気持ちから目を逸らし、見ないふりをして自分自身に気づきました。認知症が進行した現在では、特別養護老人ホームを利用。母が最後まで笑顔で過ごせるように、施設の介護者には「日々の様子を詳しく伝え、家族と過ごしてきた歴史を知ってほしい」と願っています。

●講演③  
**正しい知識と理解を深めることが責務に**

総合リハビリテーションセンター  
 みどり病院長 **成瀬 聡**

当院の院長を務める成瀬からは、新潟市における認知症介護の現状をご紹介します。今年の6月に制定された、認知症に関する初の法律「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」。第8条では、認知症に関する正しい知識と理解を深め、共生社会の実現に寄与するよう努めることが国民の責務だと定められています。当院は引き続き情報発信をしていきますので、ぜひ活用ください。

後半は、新潟県医療ソーシャルワーカー協会の副会長を務める新野直紀さんをコーディネーターに迎えて、3名の講演者とともにパネルディスカッションで意見交換をしました。セミナー中は熱心にメモを取っていた参加者の皆さ



ま。会場前の広場に並んだ認知症ケアに関わる企業や団体のブースで、脳トレや人型ロボットとの触れ合いなど各種体験を楽しむ姿も見られ、今年も盛況のうち幕を閉じました。

セミナーを振り返って

当事者のご家族の実話や認知症専門医の話を実際に聞いて、「学びになった」「参考にしたい」などの感想をお寄せいただきました。市民の皆様に分かりやすく、また専門職にとっても聞き応えのある内容を今後も企画してまいります。

認知症セミナー実行委員 川井 紀子



訪問リハビリのこれから...

在宅生活では、今起きている問題だけでなく、これから起こりうることへの予防の対応も重要です。訪問リハビリでは、環境や生活習慣を整えて元気で暮らすためのお手伝いができます。特に今年度は言語聴覚士を増員し、生活の基本である「食べる」「話して意思を伝える」の支援を強化しています。



機動性抜群!  
タイミングを逃さず  
生活に対応します

即戦力

連携力

利用者様中心に  
支援チームと  
スクラム組んで進みます



みどり訪問チームの  
私たちが  
大切にしてい  
ること

verde special 当院の訪問リハビリテーション

# 私たちと一緒にあな

リハビリマインド vol.6



提案力

お困り事を  
どうしたら解決できるか  
何を目標に頑張るのか  
一緒に考えます

幅広い  
技術力

理学療法士等が  
日々意見を交換し  
広い視点での  
リハビリを提供します



## コミュニケーション力の 高さを目指しています!

利用者様の生活を支援するために、  
『誰とでも』『ベストなタイミングで』  
『たくさん』話すことを心がけています。

## リハビリの主演はあくまでも“アナタ”

できるようになりたい目標実現の『これから』と  
まだまだここでやり続けていきたい『今』を  
一緒に叶えたい私たちが、  
今日もアナタのお宅へGO!



## 訪問リハビリでレッツ生活改革

# たらしい生活を見つけないか?



自家用車で  
家族とドライブを  
楽しみたい



一人で  
ごみ捨てに  
行けるよう  
になりたい!

家族に  
手料理を  
ふるまいたい!



家族と一緒に  
同じご飯を  
楽しみたい!

目的や疾患によって、訪問の事業が2つに分かれます。  
主に介護保険、一部医療保険での利用となります

訪問リハビリ  
(介護保険)

みどり病院  
訪問リハビリテーション  
積極的な目標がある方へ  
リハビリ主体で介入。

「出来るようになりたい、やってみ  
たい」という目標を一緒に確認し、そ  
のりハビリ計画をみどり病院の医師  
と共有し、課題に取り組みます。

訪問看護  
(介護保険・医療保険)

みどり訪問看護  
リハビリステーション  
在宅生活の維持に不安がある方、  
難病などでこれからの不安が  
ある方へ  
訪問看護業務の一環として看護  
職員の代わりに訪問しリハビリを提  
供します。

家でもお風呂に  
入りたい!



バスに乗って  
運動施設へ  
行けるようにしたい



<b>施設概要</b>
名称 尾崎クリニック (在宅療養支援診療所)
開設 平成6年12月開院
所在地 〒950-0904 新潟市中央区水島町3-19 Tel/Fax:025-243-1101
診療科目 内科、消化器内科、在宅医療、 各種健診(経鼻内視鏡、 エコー〔腹部・乳腺等〕含む)、 オンライン診療
診療時間 9:00~15:00/月・火・木・金 9:00~12:30/土 休診日/水・日・祝日



健史先生 美穂先生



連携医療機関の紹介



新潟市中央区

尾崎クリニック

**Q** 先生のご出身はどちらですか。  
新潟市です。もともとクリニックと生家は一体となっており、生まれ育った土地で診療をさせていただいていることになりました。

**Q** 座右の銘はありますか。  
「本当の贅沢というものはたった一つしかない。それは人間関係に恵まれることだ」小説「星の王子さま」の作者であるサン＝テグジュペリの言葉です。「大切なものは目に見えない」という言葉も有名ですが、人間関係はその大切なものの一つだと思っています。診察を通して多くの方々と接することが出来るのを幸せと感じています。

**Q** どのような休日をお過ごしでしょうか。  
まだ子供は小学生で、その習い事の送迎などでバタバタしていますが、その合間でカフェやケーキ屋さんに行くのを楽しみにしています。

**Q** 医療以外で、最近気になっていることはありますか。  
スイーツが好きで最近特にパフェが気になっています。新作パフェのあるお店はチェックしています。

**Q** 現在の医療で注目していることはありますか。  
医療AIに興味があります。実は当院の内視鏡、エコー、レントゲンには医療AIを搭載していて、日常的に診療の補助に使用しています。医療AIのサポートを受ける分、私たちは患者さん一人一人とお話することを大切にしたいと思っています。

**Q** 診療所について教えてください。  
来年で開院30年になり建物は古くはなっていますが、木のあたたかみを感じられる造りになっています。一方で先の医療AIのように見えないところではデジタル化を進めており、使い勝手のよいクリニックでもあると思っています。

**Q** 診療方針について教えてください。  
患者さんのLifeが豊かになるお手伝いが出来ればと思っています。Lifeには命という意味だけでなく、人生、生活という意味もあると思います。医学的なことだけでなく、楽しい生活、幸せな人生のサポートがしたいです。

**Q** 最後に一言お願い致します。  
先代から引き継いで診療を始めて5年が経ちました。まだまだ未熟者ですが、先代からの御縁も新たな御縁もどちらも大切にしながら診察させていただきたいと思っていますので、どうぞよろしく願っています。



**本人との接し方のコツ**  
なぜやる気になれないのか、無気力な状態になっているのか本人にもその理由がわかりません。理由がわからず本人も困っていますし、家族に聞かれてもうまく説明できず伝えることができません。本人が「したくてもできない状態」であることを周囲の人は理解しながら、無理強いないことが大切です。まずは、何もできず切ない思いをしている本人の気持ちに寄り添うことから始めましょう。そして、本人ができそうなこと、好きなことから促したり、一緒に手助けしながら行うこともよいでしょう。また、周囲の人が考え方を切り替えて、何もする気持ちが起きないのは本人のせいではなく、病気のせいだと割り切って見守り、寄り添うことで本人の気持ちも楽になります。

お問い合わせ ▶ みどり病院 認知症疾患医療センター ☎ 025-244-5566 ✉ dcmidori@midori-gr.jp

マンガで分かる!  
**認知症**  
のこと  
テーマ

**『やる気なくなる』**  
認知症から「何もする気が起きなくなる」ということがあります。それまで苦もなくやっていた家事、趣味活動などもしなくなり、人に会いたくなくなることもあり、家にこもりがちになる場合もあります。自分からやろう、という自発性が低下している状態なので、誰かとやれば行動することはできますが、自ら進んでは行いません。このような症状を「無気力・無関心(アバシー)」といいます。また、そのやる気がなく見える状態からうつ病と間違われることもあります。うつ病にみられる「悲しい気持ち」「自分を責める気持ち」などがみられないことが判断材料の一つになるでしょう。

絵: W-Iさん(新潟市立柳都中学校)  
今回マンガを描くために、認知症のことをたくさん調べました。そのおかげで認知症についても勉強することが出来ました。